

# 貧酸素水塊速報 (2020年)

【発行】 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議  
 神奈川県水産技術センター ○ 内湾底びき網研究会連合会  
 【協力】 千葉県環境研究センター ○ 東京都環境局  
 第三管区海上保安本部 ○ (国)国立環境研究所  
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)  
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

## 令和2年9月15日観測結果

貧酸素水塊は内湾北部から富津沖にかけて広く分布していました(図1)。DOが0.5 ml/L以下のほぼ無酸素状態の海域が先週に比べて急拡大しています。

縦断ラインでの鉛直分布では、川崎人工島付近において貧酸素水塊の厚みが20m弱ありました(図2)。

水温は表層25~27℃、底層18~26℃です。

※内湾底びき網研究会連合会による調査結果です。調査に参加された方はお疲れ様でした。

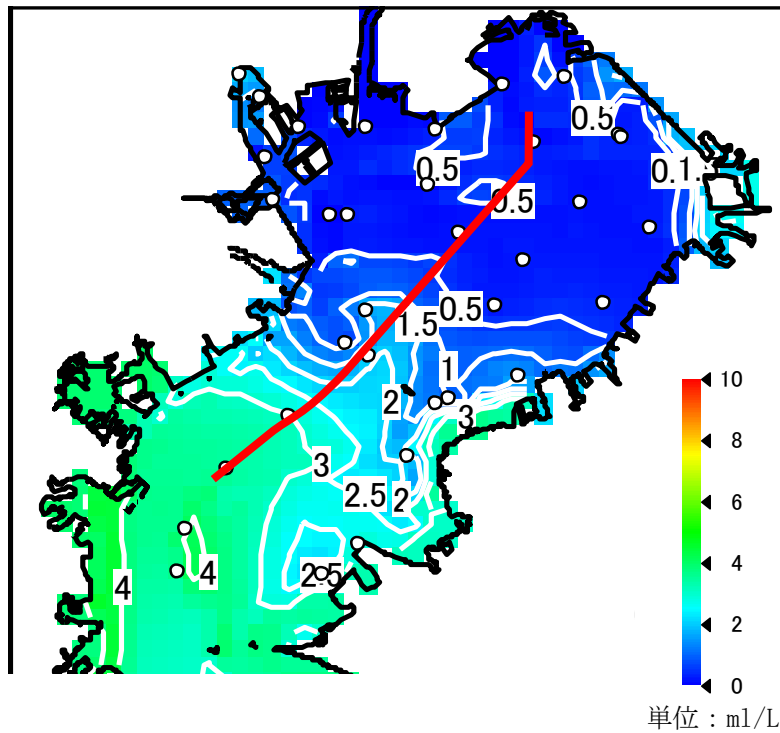


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)  
 ←湾奥 富津→

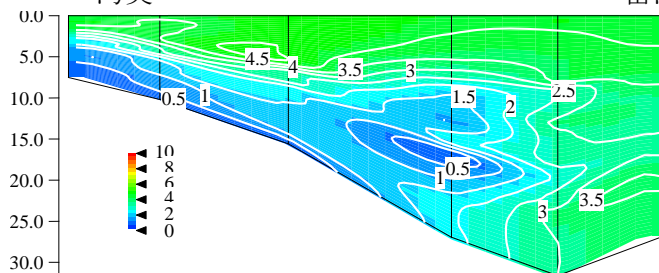


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布